

データ活用高度人材育成支援プログラム

経営課題を、社内データで解決へ

高度人材育成リスティング事業

・個別課題に応じた社内データの価値化から実装までの伴走支援

売上拡大、生産性向上、顧客対応の高度化、人材不足への対応。企業の経営課題が多様化する一方で、「社内にデータはあるのに活かしきれていない」「分析やAIを試しても経営・現場の改善につながらない」という声は少なくありません。本プログラムでは、各社の個別課題を起点に、経営層を巻き込みながら、課題整理から社内実装まで徹底的に伴走支援します。

こんなお悩みはありませんか？

- ！ 採用を強化したいが、応募や定着につながる打ち手を見つけられない
- ！ 業務効率を高めたいが、改善すべきポイントが見えにくい
- ！ 既存顧客に、より高付加価値なサービスを提供したい
- ！ 顧客対応の質を上げたいが、担当者ごとの差が大きい
- ！ 売上を伸ばしたいが、どこに注力すべきか判断しきれない
- ！ 属人化した業務を見直し、再現性のある仕組みにしたい

なぜ、データ活用は進まないのか

多くの企業でデータ活用が進まない原因は、分析手法やツールの不足ではなく「入口となる課題整理と設計」にあります。

比較項目	従来のアプローチ	本プログラムのアプローチ
出発点	ツールやAIの導入ありき	各社の個別の経営課題
入口の設計	曖昧なまま分析を開始	課題整理と指標・データの設計
実行体制	現場担当者の孤軍奮闘	経営層の参画 + 伴走支援
最終結果	孤立したPoC・不活用ツール	社内実装と高付加価値の創出

2026年度 参加企業募集!!

⇒ 支援プロセス・スケジュール・講師紹介・申込案内裏面を参照願います。

2026年度進め方・参加のご案内

支援プロセス

経営課題をそのまま分析するのではなく、何を指標にするか・どのデータをどう活用するかを整理しながら「社内データで解ける形」に変換していきます。
※使用するデータや実施方法は、各社の状況に応じて個別に調整します。



支援スケジュール

5～6月	キックオフセミナー(6/12)・経営課題把握
6～7月	ヒアリング・課題構造化・データ確認
7月以降	分析設計・モデリング・PoC実施
10月以降	集合研修・実装・定着支援
2月	成果発表

対象者

経営層

経営課題の解決に直結させたい方

リーダー

現場での活用を推進する担当者

担当者

分析を業務価値に変えたい方

1チーム担当者3名が参加可能
(経営層、リーダーは適宜ご参加ください。)

※キックオフセミナー、成果発表には経営層の方のご参加をお願いいたします。

このプログラムで身につく4つの力

1. 問題設定力

何を解くべきかを定義する力

2. 統合・設計力

人・AI・業務プロセスを組み合わせることで成果を最大化する力

3. AI活用設計力

AIに対して適切な指示・文脈を設計する力

4. 判断・評価力

AIの出力を評価し、採用・修正・却下を判断する力

講師紹介



平松 薫 氏

埼玉大学大学院理工学研究科 教授
専門は人工知能、メディア情報処理、地理情報処理。
企業における実務経験に基づき、データサイエンスに関する
技術者および研究者の育成と、研究開発に取り組む



小林 竜己 氏

LangCloudテクノロジーズ合同会社 代表
企業向けAI開発・データ分析支援、DX人材育成に長く
従事。製造・金融領域のデータ分析を数多く手掛ける。
特に、自動車セクターのAI・DX化を長く支援。

参加申込・詳細はこちら

■参加対象者

- 経営者または経営幹部の方
- 実務担当者



申込ページ
— こちら

■参加申込み

- 参加企業数：5社（定員に達し次第募集締切り）
- 募集締切：令和8年5月15日（金）まで
- 参加費：1テーマ5万円（税込み）（1テーマ3名まで参加可能）
- 研修場所：【集合研修（予定）】まるまるひがしにほん2階
【伴走支援】参加企業内またはオンライン
- お申込み：下記URLまたは左記QRコードよりお申込みください
<https://forms.cloud.microsoft/r/QKhgGnahA0>



さいたま市産業創造財団

担当：支援第二課 児玉・竹内

TEL 048-851-6652 Email shien2@sozo-Saitama.or.jp

協力機関

